

未来へつなぐきれいな水

会津若松市立第五中学校

二年 和須津 辰也

ふきのとうみそ、小梅、高田梅、焼鮭、のりの佃煮、ふりかけ、たけのこの炊き込みご飯、オムライス、しそ味噌、山椒味噌、これが僕が昨年から朝練終りに食べたおにぎりの内容です。

「和須津君もこだわりを持ってよ。」  
ある日、僕が所属している特設陸上部、駅伝

部の顧問の先生がそうおっしゃっていました。その時は「何もこだわりなんて無いな」と思っていたけれど、朝練終りにほぼ自家製の具材が入った母が握ったおにぎりを食べることに、僕のがっかりなのもしれないと思います。きました。今日のおにぎりは何かお、今日は当たりかなと思いつから食べた。今日は先輩、同級生の朝練終りの菓子パンや栄養補助食品を見て思いました。おにぎりはお米を炊き

握る人がいないと食べられませぬ。そして、その材料のお米や具材を作るいろいろな農家さんや漁師さんが生産、漁、養殖、出荷してくださっています。そして「きれいな水」がないとお米を炊くことはできません。

今日の新聞に「世界の急性飢餓人口が2022年に2億5800万人に上った」と書いてあります。その発生要因は紛争、経済状況の悪化、自然災害だそうです。急性飢餓人口の上位5ヶ国はインド、エチオピア、アフガニスタン、ナイジェリア、イエメンと続き、これら上位5ヶ国が全体の約4割を占めています。

まず、この記事を読んだ時、春休み読んだアフガニスタンで人道支援を行っていた中村哲先生の本の内容を思い出しました。中村さんはアフガニスタンで1984年からパキスタン、アフガニスタンで支援活動が続けられてきました。9年に凶弾に倒れました。1600本の井戸を掘り、25、5キロにも及ぶ用水路を拓きました。戦争で苦しんでいたアフガニスタン

で、干ばつ<sup>1</sup>が起き食料の小麦が採れず、水もなくなり多くの人が亡くなりました。その時、中村さんは「病気を治す前にまず、水が必要」と井戸を自ら掘り始めました。しかし井戸の中の地下水が枯れ始めた為、次は大きな川から直接村に水を届ける「用水路」建設を開始しました。村では、小麦、オレシジ、大根などを栽培できるようになり、食料を手に入れるために入隊していた人が、兵隊を辞め農業を始めたということも多いようです。

そして中村さんは一緒に工事を行っていたアブガニスタンの人々に「やられても、やり返してはいけない<sup>2</sup>」と繰り返して話していたようです。命の危険があるのに、反撃しないのは本当の勇気と忍耐が必要だと思えます。農業ができる水があるということは、国を平和にしていく力があることをこの本を読んで分かりました。

水の惑星といわれている地球ですが、その水の中の約0.01%しか人間が使える水はありません。

せん。地球上には約14億km<sup>3</sup>の水があります。そのうち約97.4%が海水で残りの約2.5%が塩を含まない水、淡水です。海水を淡水化して利用している国にアラブ首長国連邦があります。蒸留式を採用し上水道普及率は100%です。人間が利用できる水は、地球上の淡水の中で川や湖、浅い所にある地下水などです。例えてみると、30Lへ浴槽の水くらいを地球上のすべての水とすると、人間が使える水は30mLへ大きい二杯分しかありません。国連は地球上の淡水を限りある資源とみなし、水の有効利用を呼びかけています。そのためには節水する、川や湖を汚さないことが必要です。僕のできることを考えると、節水では歯を磨く時はゴップに水を汲んでその水を口をゆすいかり、歯ブラシを洗うのに使う、お風呂のシャワーの水をこまめに止める、顔や手を洗う時に水を出しすぎない、靴や運動着を洗う時はお風呂の残り湯を使うことなどです。川や湖が汚れる大きな原因の

一つは家庭排水のようです。僕ができることは、食べ残しをしない、僕が食器を洗う時は油よごれを古紙で拭き取り、水を出しすぎないように洗い、洗剤を少なめにする。お風呂の排水口を、こまめに古い歯ブラシを使って掃除する。洗濯する時も、お風呂掃除する時も洗剤をできるだけ少なくする。今まで、部活から帰って来て汚れたワイシャツは、くつ下を下洗いあるのが面倒だと思う時がありました。小学校の時から運動着や靴などは自分で洗っていました。加えて、中学に入ってから、ワイシャツと白い靴下が追加されました。なぜ下洗いをしてから洗濯機で洗うのか、今回水について調べてみて、やっと納得できました。

これから先、自分ができる節水を続けて、きれいな水を未来につなげて行きたいと思えます。